

資料 3

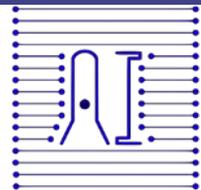


# AIネットワークの社会浸透に向けたシナリオ

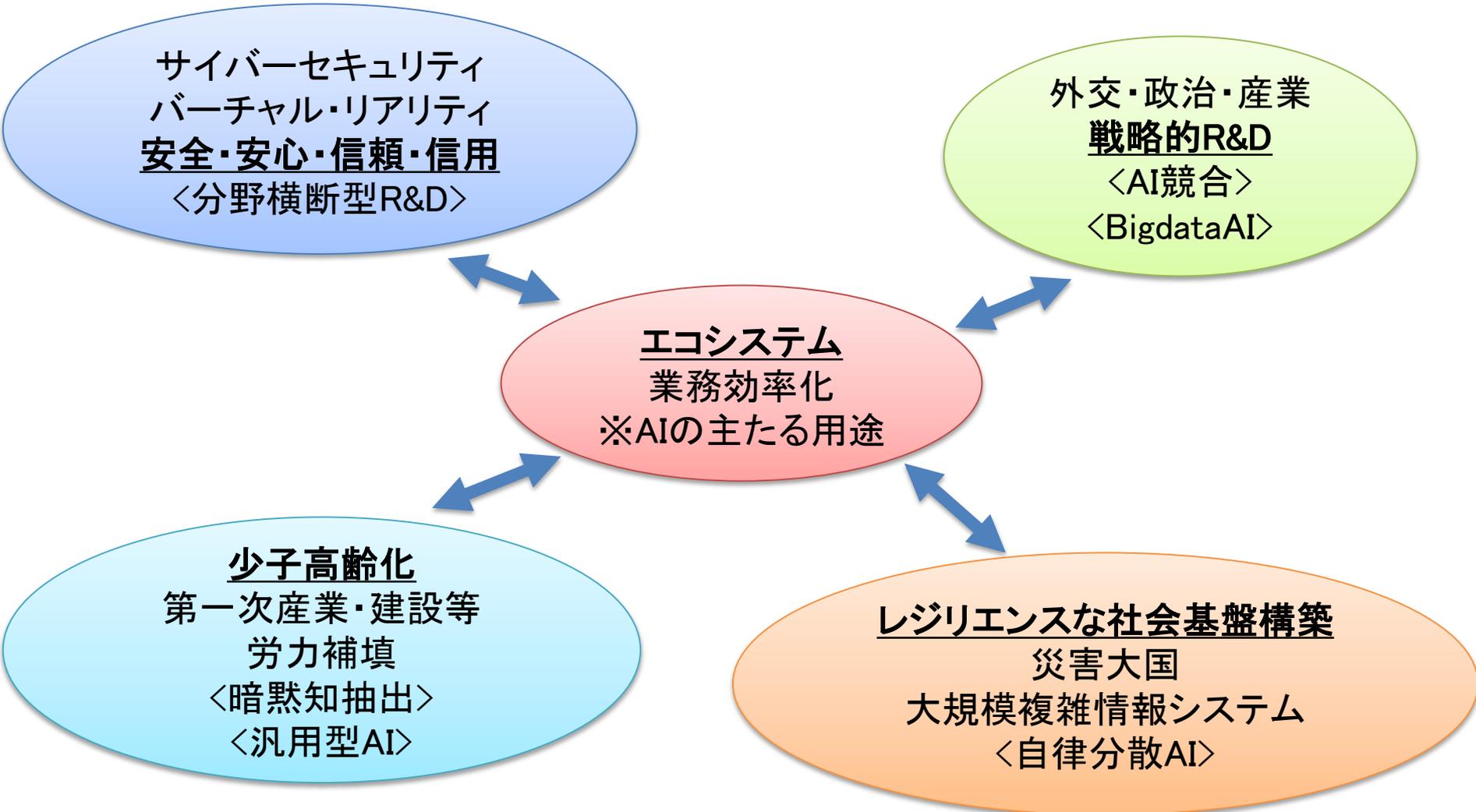
栗原 聡

電気通信大学大学院情報理工学研究科／  
人工知能先端研究センターAIX



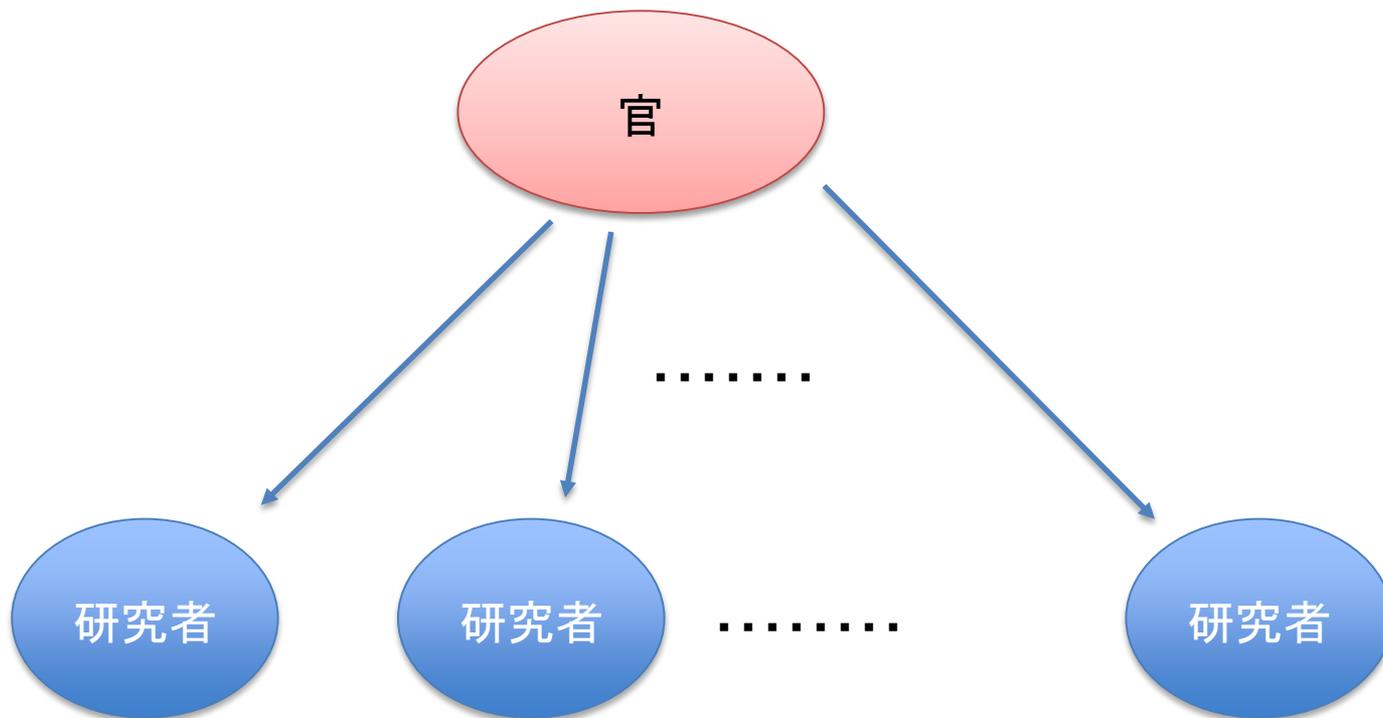


# 次世代社会インフラとしてのAIネットワーク



# AIで生き残るための最後の戦略

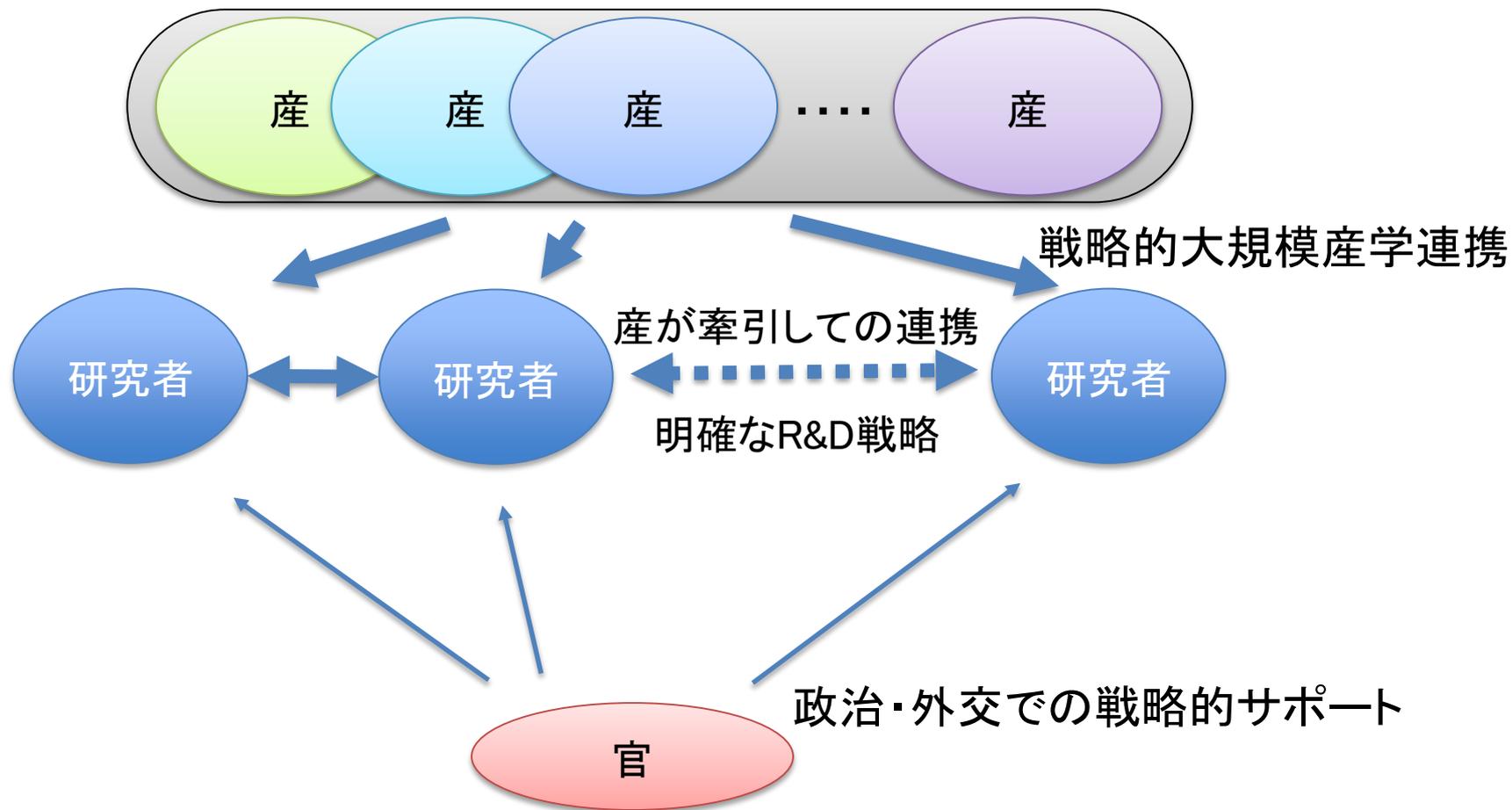
トップダウン的・野心的テーマ設定が難しい



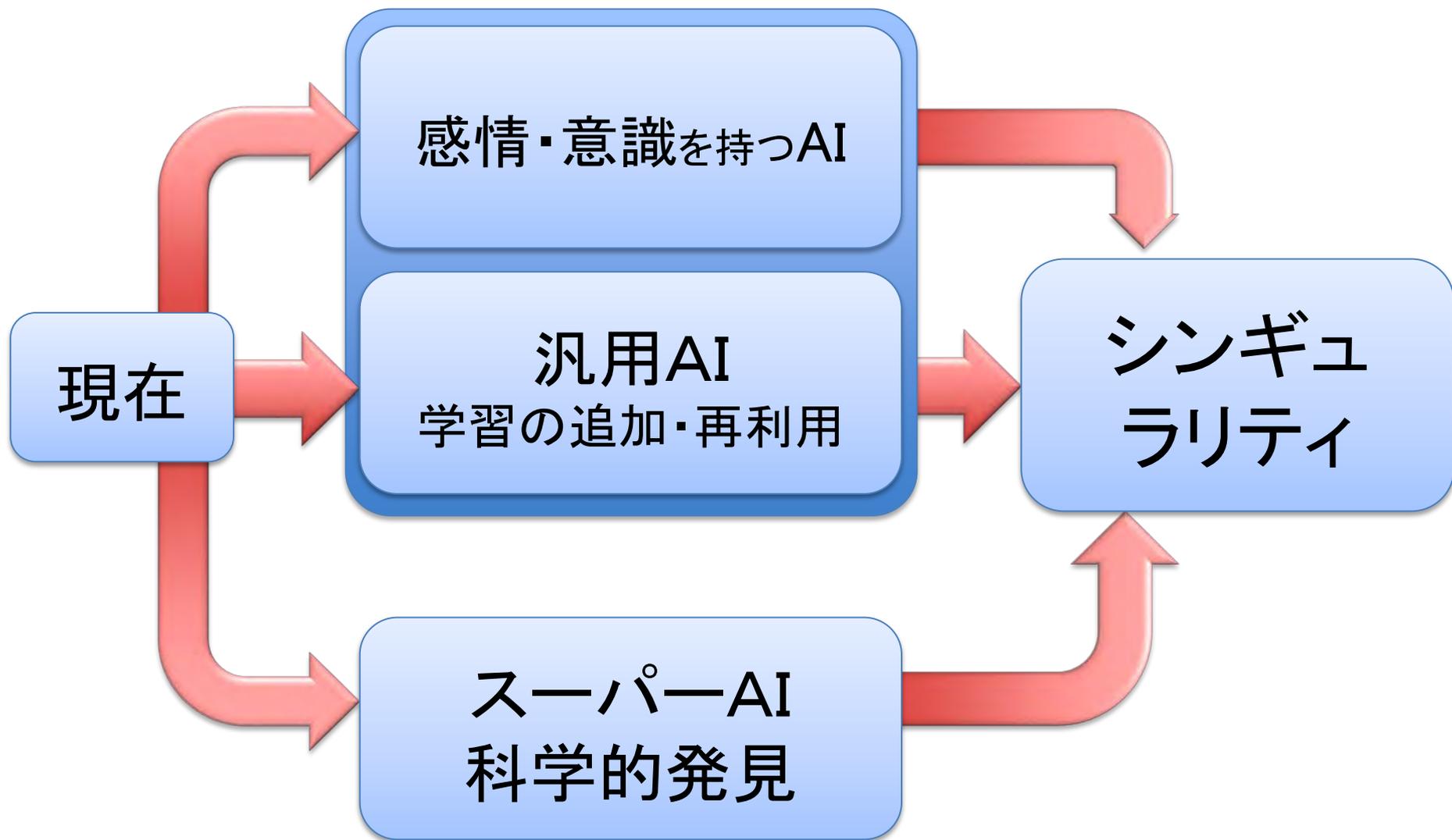
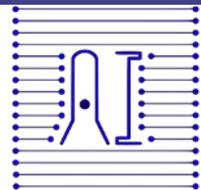
横串連携が難しい  
産学連携も小粒になりがち

# AIで生き残るための最後の戦略

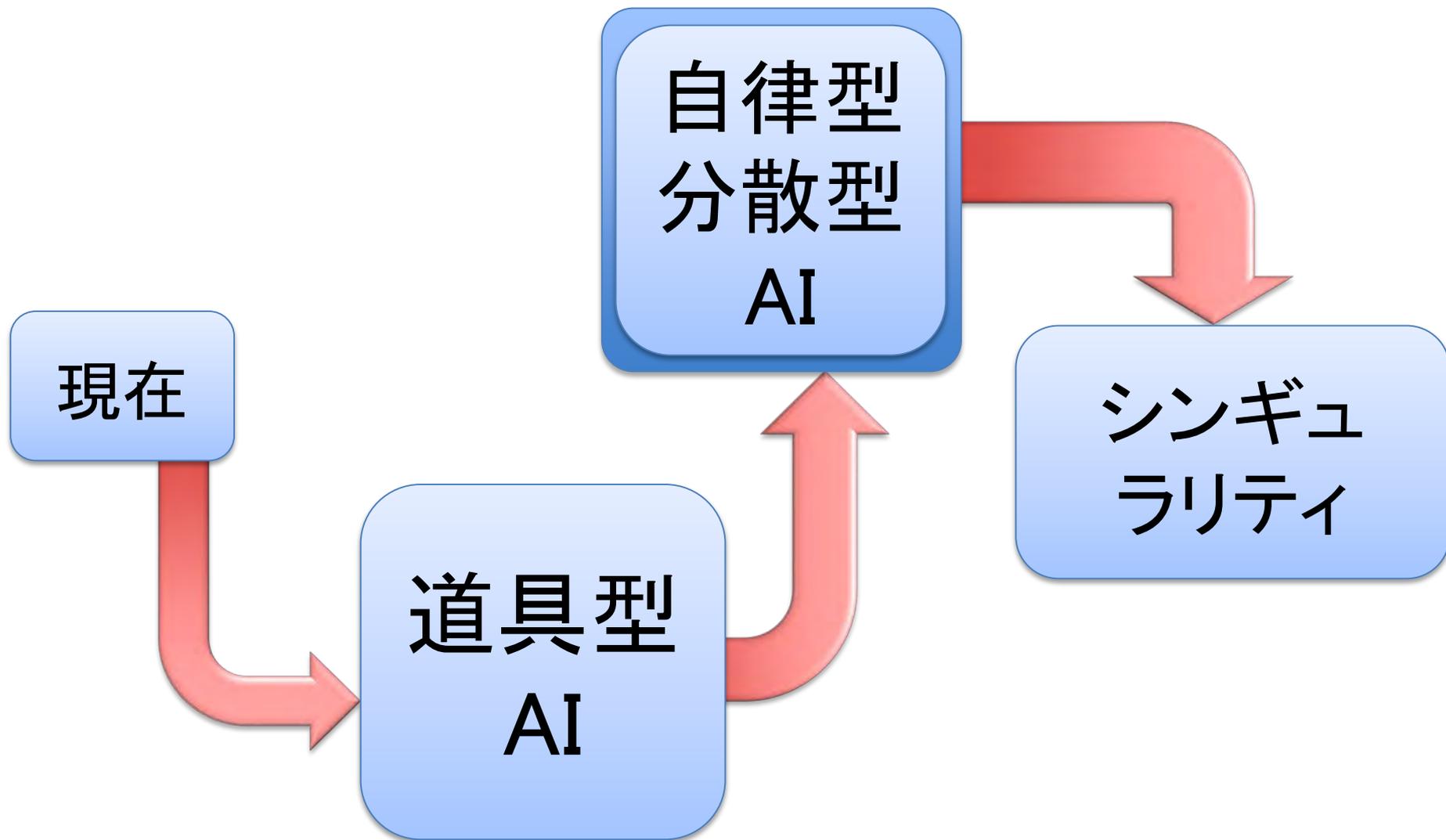
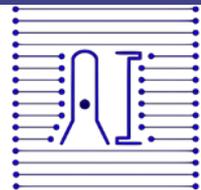
## 産の連携(技術・資金・社会実装)



# これからのAIの道筋(1/2)



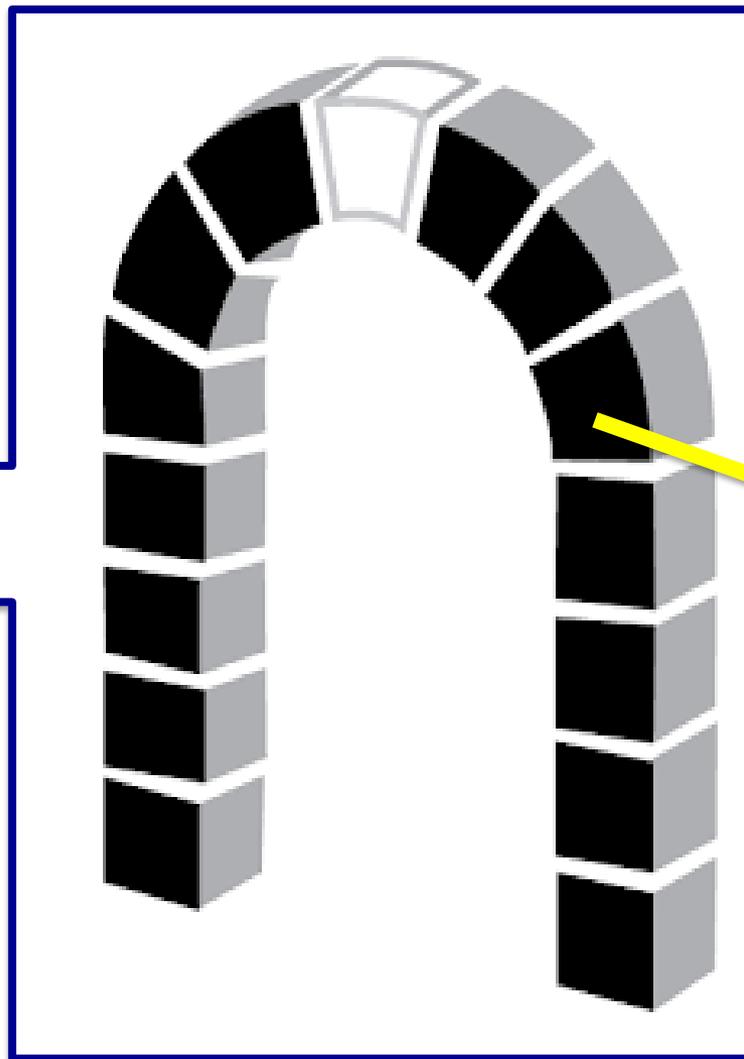
# これからのAIの道筋(2/2)



# キャスティングボードを握れるか？

## 完成形AI

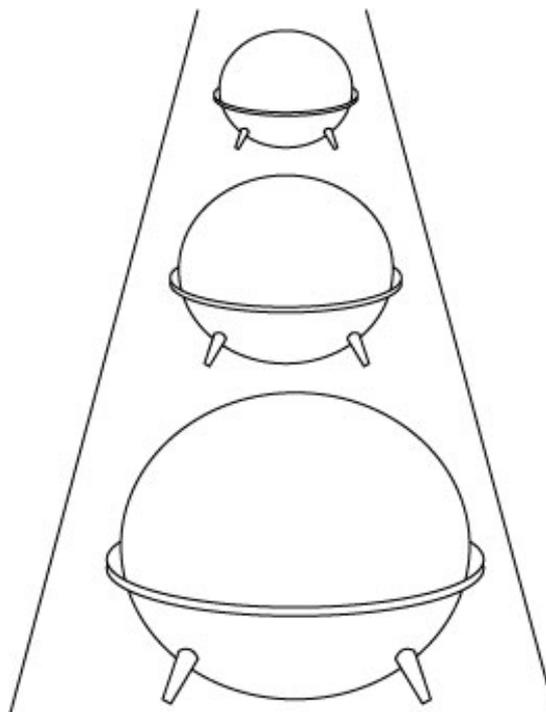
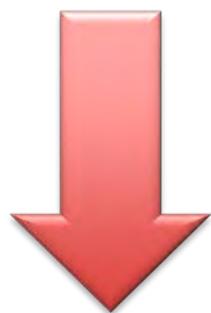
- 箱庭での実験(AI牧場)
- スケールした実験可能な規模
- 特区や大規模シミュレーション環境
- 大規模バーチャル空間



# 可能性はある……

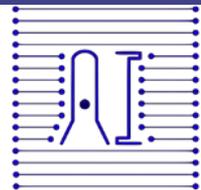
木を見る西洋人 vs 森を見る東洋人

一神教 vs 多神教



奴隷(道具)としてのAI vs 人と共生するAI

# 直近の課題 ポスト2020・・・



2020年までに様々なAIプロジェクトが具現化  
期待を下回るのは自明(バブルが弾ける)

五輪ロスの影響も大きい  
如何にして**軟着陸**させるか・・・

戦略的**産官学**研究開発

→ 基礎研究・イノベーションへの投資